

## 第4章 教育職員免許状取得のための履修方法

- 教育職員免許状を修得する場合は、この章の履修方法により履修してください。
- それぞれの課程、コースで卒業要件として指定されている科目は、免許状取得のためにあらためて修得する必要はありません。
- 一つの授業科目がいくつかの免許種や免許教科に記載されているものがありますが、一度修得すれば十分です。言い換えれば、2つ免許を取るからといって、同じ授業を2度履修する必要はありません。

### 全免許共通

#### ■基礎資格

- 1種免許状：「学士」の資格を有すること
- 2種免許状：「短期大学士」の資格を有すること又は大学に2年以上在学し6.2単位以上を修得していること。
  - 「学士」の資格を有すれば、「短期大学士」は満たされます。
- 特別支援学校の免許状の基礎資格は特別支援学校教諭免許状の項を参照してください。

#### ■文部科学省令で定める以下の科目を修得すること。

- 日本国憲法の2単位は、共通教育科目で1年次に開設される「日本国憲法」2単位
- 体育の2単位は、共通教育科目で1年次に開設される「健康科学・理論と実践」1単位、「体育・スポーツ群」の科目1単位
- 外国語コミュニケーションの2単位は、共通教育科目で1年次に開講される「フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ」1単位、「フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ」1単位
- 情報機器の操作の2単位は、高年次に教育学部で開講される「コンピュータ利用教育」2単位

## 小学校教諭免許状

### ■小学校教諭免許状取得に必要な単位数

科目区分	1種免許状	2種免許状
教科に関する科目	8単位	4単位
教職に関する科目	41単位	31単位
教科又は教職に関する科目（大学が加える教職に準ずる科目を含む。）	10単位	2単位

### 教科に関する科目（小学校）

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：1教科以上8単位
  - 2種免許状：1教科以上4単位
- いずれの教科の単位を修得する場合も、次の○印の「基礎」の語のついた一般的包括的内容を含んだ科目を修得する必要があります。

履修確認	教科	科目名	単位
	国語	○国語基礎	2
	社会	○社会基礎	2
	算数	○算数基礎	2
	理科	○理科基礎	2
	生活	○生活基礎	2

履修確認	教科	科目名	単位
	音楽	○音楽基礎	2
	図画工作	○図画工作基礎	2
	体育	○体育基礎	2
	家庭	○家庭生活基礎	2

## 教職に関する科目（小学校）

- 各欄ごとに示された単位数以上を、括弧で示された事項をすべて含むように授業科目を組み合わせ履修してください。

### ■第2欄 教職の意義等に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の3事項を全て含み 2単位
  - 2種免許状：以下の3事項を全て含み 2単位
- 含まれる内容
  - (1) 教職の意義及び教員の役割
  - (2) 教員の職務内容（研修，服務及び身分保障等を含む。）
  - (3) 進路選択に資する各種の機会の提供等

履修確認	科目名	単位	含む事項
	教育臨床入門	2	(1) (2) (3)

### ■第3欄 教育の基礎理論に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の3事項を全て含み 6単位
  - 2種免許状：以下の3事項を全て含み 4単位
- 含まれる内容
  - (1) 教育の理念並びに教育に関する歴史および思想
  - (2) 幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）
  - (3) 教育に関する社会的，制度的又は経営的事項

履修確認	科目名	単位	含む事項
	人間の生成と社会	2	(1) (3)
	教育経営	2	(3)
	発達・教育心理学概論	2	(2)

- 以下の科目も免許取得に利用できますが，専門性の高い科目ですので，履修に当たっては授業担当教員と相談してください。

履修確認	科目名	単位	含む事項
	臨床教育学概論	2	(1)
	教育社会学概論	2	(3)
	教育心理学	2	(2) (3)
	認知心理学	2	(2) (3)

履修確認	科目名	単位	含む事項
	発達心理学	2	(1) (2)
	幼児心理学	2	(1) (2)
	生涯学習概論	4	(3)

#### ■第4欄上 教育課程及び指導法に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の5事項を全て含み 2.2単位
  - 2種免許状：以下の5事項を全て含み 1.4単位
- 含まれる内容
  - (1) 教育課程の意義及び編成の方法
  - (2) 各教科の指導法
  - (3) 道徳の指導法
  - (4) 特別活動の指導法
  - (5) 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）

#### ※(2)各教科の指導法以外の修得方法

- 各教科の指導法の修得方法は別記。
- 各教科の指導法以外の科目の必要単位数は、各教科の指導法の必要単位数を除いた単位数を(1)、(3)、(4)及び(5)の事項を全て含み修得すること。

履修確認	科目名	単位	含む事項
	教育内容・方法論	2	(1)(5)
	道徳教育の基礎と実践	2	(3)
	特別活動の理論と方法	1	(4)

- 以下の科目も免許取得に利用できますが、専門性の高い科目ですので、履修に当たっては授業担当教員と相談してください。

履修確認	科目名	単位	含む事項
	総合的な学習の授業づくり	2	(1)(5)

#### ※(2)各教科の指導法の修得方法

- 必要単位数
  - 1種免許状：9教科それぞれ2単位以上
  - 2種免許状：音楽，図画工作，体育のうち2以上を含む6以上の教科についてそれぞれ2単位以上
- 履修に当たっては、○印の「基礎」の語のついた一般的包括的内容を含んだ科目を必ず修得すること。

履修確認	教科	科目名	単位
	国語	○初等国語科指導法基礎	2
	社会	○初等社会科指導法基礎	2
	算数	○算数科指導法基礎	2
	理科	○初等理科指導法基礎	2
	生活	○生活科指導法基礎	2

履修確認	教科	科目名	単位
	音楽	○初等音楽科指導法基礎	2
	図画工作	○図画工作科指導法基礎	2
	体育	○初等体育科指導法基礎	2
	家庭	○初等家庭科指導法基礎	2

#### ■第4欄下 生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の3事項を全て含み 4単位
  - 2種免許状：以下の3事項を全て含み 4単位
- 含まれる内容
  - (1) 生徒指導の理論及び方法
  - (2) 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法
  - (3) 進路指導の理論及び方法

履修確認	科目名	単位	含む事項
	教育カウンセリング概論	2	(2)
	児童理解・生徒指導概論	2	(1)(3)

#### ■第5欄 教育実習

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：教育実習事前・事後指導1単位を含み 5単位
  - 2種免許状：教育実習事前・事後指導1単位を含み 5単位
- 教育実習の履修については，別途指示にしたがってください。（p.159参照）
- 教育実習は4単位必要です。教育実習Ⅰ（中等）を修得した場合の4単位のうち，2単位を小学校教諭免許状に必要な単位とすることができるので，教育実習Ⅱ（初等）を修得すれば，合わせて4単位をみたくことができます。

履修確認	科目名	単位
	教育実習事前・事後指導（初等）	1
	教育実習Ⅰ（初等）	4
	教育実習Ⅱ（初等）	2

#### ■第6欄 教職実践演習

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：2単位
  - 2種免許状：2単位

履修確認	科目名	単位
	教職実践演習（幼・小・中・高）	2

## 教科または教職に関する科目（小学校）

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：10単位
  - 2種免許状：2単位
- 教科又は教職に関する科目は、1. 「教科に関する科目」、2. 「教職に関する科目」及び3. 「大学が加える教職に準ずる科目」（下記の表を参照）の3項目から選択して履修します。
  - 1. 「教科に関する科目」として修得し、余剰となった単位<sup>※注</sup>は教科又は教職に関する科目の単位とすることができます。
  - 2. 「教職に関する科目」については、各欄の含むことが必要な項目を全て含んだ上で余剰となった単位<sup>※注</sup>を教科又は教職に関する科目の単位とすることができます。
  - 3. 大学が加える教職に準ずる科目

履修確認	科目名	単位
	地域教育演習Ⅰ	1
	地域教育演習Ⅱ	1
	教育臨床演習	2
	総合演習	2
	野外教育	1
	特別支援教育総論	2
	コミュニケーション論	2
	比較文化教育	2
	多文化教育方法論	2
	日本語教育学概論	2
	異文化間コミュニケーション教育	2
	情報機器活用論	2
	情報活用能力育成法	2
	キャリア教育特講	2
	授業開発論特講	2
	環境教育	2
	不登校・いじめ	2
	ものづくりの入門	2
	初等英語科指導法基礎	2
	英語基礎	2
	小学校教室英語コミュニケーション	2

※注 「余剰となった単位」とは、余剰となった科目の単位数です。  
 （1つの科目の単位数を分割してカウントすることはできません。）

## 中学校教諭免許状

### ■中学校教諭免許状取得に必要な単位数

科目区分	1種免許状	2種免許状
教科に関する科目	20単位	10単位
教職に関する科目	31単位	21単位
教科又は教職に関する科目（大学が加える教職に準ずる科目を含む。）	8単位	4単位

### 教科に関する科目（中学校）

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：免許教科の種類に応じ、免許法の科目それぞれ1単位以上計20単位
  - 2種免許状：免許教科の種類に応じ、免許法の科目それぞれ1単位以上計10単位
- 「免許法の科目」欄に「 」で示された科目については「 」内の1以上の科目について修得し，“及び”で括られた科目はその両方を修得してください。また，（ ）内の含む事項は，“基礎”の語のついた一般的包括的内容を含んだ科目には必ず含まれています。
- いずれの「免許法の科目」の単位を修得する場合も，必ず○印の「基礎」の語のついた一般的包括的内容を含んだ科目をまず修得する必要があります。この科目を修得しない場合は，その「免許法の科目」では一般的包括的内容を含んだ科目を修得していないことになり，単位数がそろっても免許状は取得できません。
- 授業科目の中で，※印の科目は，免許状取得に必要な科目として履修できますが，高度な内容が含まれるので，授業担当教員の許可を得て，履修してください。

### ■国語

免許法の科目	履修確認	科目名	単位	備考
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）		○日本語学基礎	2	音声言語及び文章表現に関するものを含む。
		日本語史	2	
		文法論	2	
		語彙論	2	
		※日本語学演習	2	
国文学（国文学史を含む。）		○日本文学基礎	2	国文学史を含む。
		近代文学講読	2	
		古典文学講読	2	
		近代文学史	2	
		古典文学史	2	
		※近代文学演習	2	
	※古典文学演習	2		
漢文学		○漢文学基礎	2	
書道（書写を中心とする。）		○書写基礎	2	
		書道演習	2	

## ■社会

免許法の科目	履修 確認	科目名	単位	備考
日本史及び外国史		○歴史学基礎	2	日本史及び外国史
		日本史 I	2	日本史
		外国史 I	2	外国史
地理学（地誌を含む。）		○地理学基礎	2	地理学（地誌を含む。）
		人文地理学	2	地理学
		自然地理学	2	〃
		地理学野外実習 I	2	〃
		地理学野外実習 II	2	〃
		地誌学概論	2	地誌
「法律学，政治学」		○法律学基礎	2	法律学
		法律学 I	2	〃
		○政治学基礎	2	政治学
		政治学 I	2	〃
「社会学，経済学」		○社会学基礎	2	社会学
		文化人類学 I	2	〃
		○経済学基礎	2	経済学
		経済学 I	2	〃
「哲学，倫理学，宗教学」		○哲学基礎	2	哲学
		哲学 I	2	〃
		○倫理学基礎	2	倫理学
		倫理学 I	2	〃

## ■数学

免許法の科目	履修 確認	科目名	単位	備考
代数学		○代数学基礎	3	
		群論	2	
		環論	2	
		体論	2	
幾何学		○幾何学基礎	2	
		ユークリッド空間内の幾何学	2	
		曲面上の幾何学	2	
		微分幾何学	2	
解析学		○解析学基礎	3	
		複素解析学	2	
		微分方程式論	2	
		ヒルベルト空間論	2	
		解析数論	2	
「確率論，統計学」		○数理統計学基礎	2	統計学
		確率論	2	確率論
コンピュータ		○コンピュータ基礎	2	

## ■理科

免許法の科目	履修確認	科目名	単位	備考
物理学		○物理学基礎	2	
		力学	2	
		電磁気学	2	
物理学実験(コンピュータ活用を含む。)		○物理学基礎実験	1	コンピュータ活用を含む。
		※物理学実験 I	1	物理学基礎実験を履修済であることが望ましい
化学		○化学基礎	2	
		無機化学	2	
		有機化学	2	
		物理化学	2	
化学実験(コンピュータ活用を含む。)		○化学基礎実験	1	コンピュータ活用を含む。
		※化学実験 I	1	化学基礎実験を履修済であることが望ましい
生物学		○生物学基礎	2	
		生化学	2	
		生態学	2	
		※遺伝学	2	生化学を履修済であることが望ましい
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)		○生物学基礎実験	1	コンピュータ活用を含む。
		※生物学実験 I	1	生物学基礎実験を履修済であることが望ましい
地学		○地学基礎	2	
		気象学概論	2	
		地質学概論	2	
		天文学概論	2	
地学実験(コンピュータ活用を含む。)		○地学基礎実験	1	コンピュータ活用を含む。
		※地学実験 I	1	地学基礎実験を履修済であることが望ましい

## ■音楽

免許法の科目	履修確認	科目名	単位	備考
ソルフェージュ		○ソルフェージュ基礎	2	
		ソルフェージュ演習	1	
声乐(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)		○歌唱法基礎	2	合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。
		合唱法	2	
		伝統的歌唱法	2	
		歌唱法演習	1	
		独唱法	1	
器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)		○器楽表現法基礎	2	合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。
		器楽表現法演習	1	
		ピアノ表現法	1	
		器楽アンサンブル基礎	1	
		ピアノ演奏法 I	1	
		管楽合奏	2	
		和楽器奏法	2	
	ピアノ演奏法 II	1		
指揮法		○指揮法基礎	2	
		指揮法演習	1	
音楽理論,作曲法(編曲法を含む。)及び音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽含む。)		○音楽理論基礎	2	音楽理論以下全て含む。
		作曲法	1	作曲法
		西洋音楽史	2	音楽史
		日本音楽史	2	音楽史
		音楽理論演習	1	音楽理論
		編曲法	1	編曲法

## ■美術

免許法の科目	履修確認	科目名	単位	備考
絵画 (映像メディア表現を含む。)		○絵画基礎	1	映像メディア表現を含む。
		絵画実習	1	
		版画演習	2	
		※人物画演習	1	
		※抽象表現演習	1	映像メディア表現を含む。
		※裸婦絵画演習	1	
		※絵画形態論	2	
		※絵画色彩論	2	
彫刻		○彫刻基礎	1	
		彫塑実習	1	
		木彫演習	2	
		※彫塑演習	2	
		※裸婦彫刻演習	2	
		※彫刻表現論	2	
		※彫刻技法論	2	
		※彫刻研究	2	
デザイン (映像メディア表現を含む。)		○デザイン基礎	1	映像メディア表現を含む。
		デザイン実習	1	
		視覚デザイン演習	2	
		※デザイン論	2	
		※デザイン研究	2	
工芸		○工芸基礎	2	
		工芸実習	1	
		やきもの演習	2	
美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)		○美術史・美術理論基礎	2	美術理論及び美術史以下全て含む。
		西洋美術史	2	美術史
		※美術史・美術理論演習	2	
		※西洋近代美術史	2	
		※美術史・美術理論研究	2	
	※日本美術史	2	美術史	

## ■保健体育

免許法の科目	履修確認	科目名	単位	備考
体育実技		○中等体育実技基礎Ⅰ	1	
		○中等体育実技基礎Ⅱ	1	
		体づくり運動	1	
		器械運動	1	
		陸上競技	1	
		サッカー	1	
		バスケットボール	1	
		バレーボール	1	
		ソフトボール	1	
		剣道	1	
		柔道	1	
		ダンス	1	
		水泳	1	
「体育原理, 体育心理学, 体育経営管理学, 体育社会学, 体育史」及び運動学(運動方法学を含む。)		○体育学基礎	2	体育原理
		体育史	2	体育史
		体育心理学	2	
		体育社会学	2	
		○運動学基礎	2	運動学(運動方法学を含む。)
		運動学演習	2	運動学
生理学(運動生理学を含む。)		運動方法学	2	運動学
		○生理学基礎	2	運動生理学を含む。
衛生学及び公衆衛生学		○衛生学・公衆衛生学基礎	2	衛生学及び公衆衛生学
学校保健(小児・精神保健, 学校安全及び救急処置を含む。)		○学校保健基礎	2	小児・精神保健, 学校安全及び救急処置を含む。

## ■技術

免許法の科目	履修確認	科目名	単位	備考
木材加工 (製図及び実習を含む。)		○木材加工基礎	2	製図及び実習を含む。
		木材加工実習	1	
		※木材加工学	2	
金属加工 (製図及び実習を含む。)		○金属加工基礎	2	製図及び実習を含む。
		金属加工実習	1	
		※材料科学	2	
機械(実習を含む。)		○機械基礎	2	実習を含む。
		機械実習	1	
		※機械応用力学	2	
電気(実習を含む。)		○電気電子基礎	2	実習を含む。
		電気電子実習	1	
		※エネルギー変換	2	
栽培(実習を含む。)		○栽培基礎	2	実習を含む。
		※技術と環境	2	
情報とコンピュータ (実習を含む。)		○情報基礎	2	実習を含む。
		情報基礎実習	1	
		※情報応用	2	

## ■家庭

免許法の科目	履修確認	科目名	単位	備考
家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)		○生活経営学基礎	2	家族関係学及び家庭経済学を含む。
		現代社会と家族	2	
		現代生活論	2	
		※消費者教育論	2	
		※高齢社会論	2	
被服学 (被服製作実習を含む。)		○被服学基礎	2	被服製作実習を含む。
		アパレル科学	2	
		被服整理学	2	
		被服製作実習	1	
		※アパレル実験	1	
食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)		○食物学基礎	2	栄養学、食品学及び調理実習を含む。
		食品・栄養学	2	
		※食物学実験	1	
		※調理科学	2	
住居学		○住居学基礎	2	
		住居環境学	2	
		※住居学実験	1	
		※住環境変遷論	2	
保育学(実習を含む。)		○保育学基礎	2	実習を含む。
		児童家庭福祉論	2	
		※児童発達論	2	

## ■ 英語

免許法の科目	履修 確認	科目名	単位	備考
英語学		○英語学基礎	2	
		英語学と教材研究Ⅰ	2	
		英語学と教材研究Ⅱ	2	
		第二言語習得論	2	
英米文学		○英米文学基礎	2	
		英米文学と教材研究Ⅰ	2	
		英米文学と教材研究Ⅱ	2	
英語コミュニケーション		○伝達能力論基礎	2	
		英語コミュニケーション・リスニング <sup>*</sup>	2	
		英語コミュニケーション・リーディング <sup>*</sup> Ⅰ	2	
		英語コミュニケーション・リーディング <sup>*</sup> Ⅱ	1	
		英語コミュニケーション・リーディング <sup>*</sup> Ⅲ	1	
		英語コミュニケーション・ライティング <sup>*</sup> Ⅰ	2	
		英語コミュニケーション・ライティング <sup>*</sup> Ⅱ	1	
		英語コミュニケーション・ライティング <sup>*</sup> Ⅲ	1	
		教室英語コミュニケーションⅠ	1	
		教室英語コミュニケーションⅡ	1	
	教室英語コミュニケーションⅢ	1		
異文化理解		○異文化理解基礎	2	
		英語文化	1	

## 教職に関する科目（中学校）

- 各欄ごとに示された単位数以上を，括弧で示された事項をすべて含むように授業科目を組み合わせ履修してください。

### ■第2欄 教職の意義等に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の3事項を全て含み 2単位
  - 2種免許状：以下の3事項を全て含み 2単位
- 含まれる内容
  - (1) 教職の意義及び教員の役割
  - (2) 教員の職務内容（研修，服務及び身分保障等を含む。）
  - (3) 進路選択に資する各種の機会の提供等

履修確認	科目名	単位	含む事項
	教育臨床入門	2	(1) (2) (3)

### ■第3欄 教育の基礎理論に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の3事項を全て含み 6単位
  - 2種免許状：以下の3事項を全て含み 4単位
- 含まれる内容
  - (1) 教育の理念並びに教育に関する歴史および思想
  - (2) 幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）
  - (3) 教育に関する社会的，制度的又は経営的事項

履修確認	科目名	単位	含む事項
	人間の生成と社会	2	(1) (3)
	教育経営	2	(3)
	発達・教育心理学概論	2	(2)

- 以下の科目も免許取得に利用できますが，専門性の高い科目ですので，履修に当たっては担当教員と相談してください。

履修確認	科目名	単位	含む事項
	臨床教育学概論	2	(1)
	教育社会学概論	2	(3)
	教育心理学	2	(2) (3)
	認知心理学	2	(2) (3)

履修確認	科目名	単位	含む事項
	発達心理学	2	(1) (2)
	幼児心理学	2	(1) (2)
	生涯学習概論	4	(3)

#### ■第4欄上 教育課程及び指導法に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の5事項を全て含み 12単位
  - 2種免許状：以下の5事項を全て含み 4単位
- 含まれる内容
  - (1) 教育課程の意義及び編成の方法
  - (2) 各教科の指導法
  - (3) 道徳の指導法
  - (4) 特別活動の指導法
  - (5) 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）

#### ※(2)各教科の指導法以外の修得方法

- 各教科の指導法の修得方法は別記。
- 各教科の指導法以外の科目の必要単位数は、各教科の指導法の必要単位数を除いた単位数を(1)、(3)、(4)及び(5)の事項を全て含み修得すること。

履修確認	科目名	単位	含む事項
	教育内容・方法論	2	(1)(5)
	道徳教育の基礎と実践	2	(3)
	特別活動の理論と方法	1	(4)

- 以下の科目も免許取得に利用できますが、専門性の高い科目ですので、履修に当たっては担当教員と相談してください。

履修確認	科目名	単位	含む事項
	マルチメディア教育論	2	(5)
	授業設計教材開発方法	2	(5)
	情報機器活用指導法	2	(5)
	総合的な学習の授業づくり	2	(1)(5)

## ※(2) 各教科の指導法の修得方法

- 必要単位数
  - 1種免許状：当該免許教科の指導法 2単位以上（8単位の修得が望ましい）
  - 2種免許状：当該免許教科の指導法 2単位以上
  - （当該免許教科の指導法の修得単位は、他教科に使用できない。）
- 履修に当たっては、○印の「基礎」の語のついた一般的包括的内容を含んだ科目を必ず修得すること。

教科	履修確認	科目名	単位
国語	○	中等国語科指導法基礎	2
		作文指導論	2
		読解・読書指導論	2
		文法指導論	2
社会	○	中等社会科指導法基礎	2
		中等社会科地理歴史教材研究	2
		中等社会科公民教材研究	2
		地理歴史教育指導法	2
	公民教育指導法	2	
数学	○	中等数学科指導法基礎	2
		数学教育研究方法論	2
		数学教育カリキュラム論	2
		数学教育教材論	2
理科	○	中等理科指導法基礎	2
		理科指導法研究	2
		理科授業研究基礎	2
		理科教育教材論	2
音楽	○	中等音楽科指導法基礎	2
		中等音楽科指導法演習	2
		中等音楽科教材論	2
		歌唱指導法	2
		器楽指導法	2
		創作指導法	2

教科	履修確認	科目名	単位
美術	○	美術科指導法基礎	2
		造形指導演習	2
		美術科指導法演習	2
		美術科教材論	2
		美術教育論	2
保健体育	○	中等保健体育科指導法基礎	2
		中等保健体育科教材論	2
		中等体育科指導法演習	2
		中等保健科指導法演習	2
技術	○	技術科指導法基礎	2
		技術科教育概論	2
		技術科教材論	2
		技術科教育演習	2
家庭	○	中等家庭科指導法基礎	2
		家庭科教育特論	2
		家庭科教材論Ⅰ	2
		家庭科教材論Ⅱ	2
英語	○	英語科指導法基礎	2
		英語科授業学	2
		英語科評価論	2
		英語科指導法演習Ⅰ	2
		英語科指導法演習Ⅱ	2
			2

#### ■第4欄下 生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の3事項を全て含み 4単位
  - 2種免許状：以下の3事項を全て含み 4単位
- 含まれる内容
  - (1) 生徒指導の理論及び方法
  - (2) 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法
  - (3) 進路指導の理論及び方法

履修確認	科目名	単位	含む事項
	教育カウンセリング概論	2	(2)
	児童理解・生徒指導概論	2	(1)(3)

#### ■第5欄 教育実習

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：教育実習事前・事後指導1単位を含み 5単位
  - 2種免許状：教育実習事前・事後指導1単位を含み 5単位
- 教育実習の履修については，別途指示にしたがってください。（p.159参照）
- 教育実習は4単位必要ですが，教育実習Ⅰ（初等）の4単位のうち，2単位を中学校教諭免許状に必要な単位とすることができるので，教育実習Ⅱ（中等）を修得した場合，合わせて4単位をみだすことができます。

履修確認	科目名	単位
	教育実習事前・事後指導（中等）	1
	教育実習Ⅰ（中等）	4
	教育実習Ⅱ（中等）	2

#### ■第6欄 教職実践演習

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：2単位
  - 2種免許状：2単位

履修確認	科目名	単位
	教職実践演習（幼・小・中・高）	2

## 教科または教職に関する科目（中学校）

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：8単位
  - 2種免許状：4単位
- 教科又は教職に関する科目は、1. 「教科に関する科目」、2. 「教職に関する科目」及び3. 「大学が加える教職に準ずる科目」（下記の表を参照）の3項目から選択して履修します。
  - 1. 「教科に関する科目」として修得し、余剰となった単位<sup>※注</sup>は教科又は教職に関する科目の単位とすることができます。
  - 2. 「教職に関する科目」については、各欄の含むことが必要な項目を全て含んだ上で余剰となった単位<sup>※注</sup>を教科又は教職に関する科目の単位とすることができます。
  - 3. 大学が加える教職に準ずる科目

履修 確認	科目名	単位
	地域教育演習Ⅰ	1
	地域教育演習Ⅱ	1
	教育臨床演習	2
	総合演習	2
	野外教育	1
	特別支援教育総論	2
	コミュニケーション論	2
	比較文化教育	2
	多文化教育方法論	2
	日本語教育学概論	2
	異文化間コミュニケーション教育	2
	情報機器活用論	2
	情報活用能力育成法	2
	キャリア教育特講	2
	授業開発論特講	2
	環境教育	2
	不登校・いじめ	2
	ものづくりの入門	2

※注 「余剰となった単位」とは、余剰となった科目の単位数です。  
（1つの科目の単位数を分割してカウントすることはできません。）

## 高等学校教諭免許状

### ■高等学校教諭免許状取得に必要な単位数

科目区分	1種免許状
教科に関する科目	20単位
教職に関する科目	23単位
教科又は教職に関する科目（大学が加える教職に準ずる科目を含む。）	16単位

### 教科に関する科目（高等学校）

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：免許教科の種類に応じ、免許法の科目それぞれ1単位以上計20単位
- 「免許法の科目」欄に「 」で示された科目については「 」内の1以上の科目について修得し，“及び”で括られた科目はその両方を修得してください。また，（ ）内の含む事項は，「基礎」の語のついた一般的包括的内容を含んだ科目には必ず含まれています。
- いずれの「免許法の科目」の単位を修得する場合も，必ず○印の「基礎」の語のついた一般的包括的内容を含んだ科目をまず修得する必要があります。この科目を修得しない場合は，その「免許法の科目」では一般的包括的内容を含んだ科目を修得していないことになり，単位数がそろっても免許状は取得できません。
- 授業科目の中で，※印の科目は，免許状取得に必要な科目として履修できますが，高度な内容が含まれるので，授業担当教員の許可を得て，履修してください。

### ■国語

免許法の科目	履修確認	科目名	単位	備考
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）		○日本語学基礎	2	音声言語及び文章表現に関するものを含む。
		日本語史	2	
		文法論	2	
		語彙論	2	
		※日本語学演習	2	
国文学（国文学史を含む。）		○日本文学基礎	2	国文学史を含む。
		近代文学講読	2	
		古典文学講読	2	
		近代文学史	2	
		古典文学史	2	
		※近代文学演習	2	
		※古典文学演習	2	
漢文学		○漢文学基礎	2	
		漢文学概論	2	

## ■地理歴史

免許法の科目	履修 確認	科目名	単位	備考
日本史		○日本史Ⅰ	2	
		日本史Ⅱ	2	
		日本史Ⅲ	2	
		日本史演習Ⅰ	2	
		日本史演習Ⅱ	2	
外国史		○外国史Ⅰ	2	
		外国史Ⅱ	2	
		外国史Ⅲ	2	
		外国史演習Ⅰ	2	
		外国史演習Ⅱ	2	
人文地理及び自然地理学		○人文地理学	2	人文地理学
		人文地理学演習Ⅰ	2	〃
		人文地理学演習Ⅱ	2	〃
		地理学野外実習Ⅰ	2	人文地理及び自然地理学
		地理学野外実習Ⅱ	2	〃
		○自然地理学	2	自然地理学
		自然地理学実習Ⅰ	2	〃
		自然地理学実習Ⅱ	2	〃
地誌		地形学	2	〃
		○地誌学概論	2	地誌
		地誌学特論	2	〃

## ■公民

免許法の科目	履修 確認	科目名	単位	備考
「法学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」		○法学基礎	2	法学
		法学Ⅰ	2	〃
		法学Ⅱ	2	〃
		○政治学基礎	2	政治学
		政治学Ⅰ	2	〃
		政治学Ⅱ	2	〃
「社会学, 経済学(国際経済 を含む。)」		○社会学基礎	2	社会学
		文化人類学Ⅰ	2	〃
		文化人類学Ⅱ	2	〃
		○経済学基礎	2	経済学
		経済学Ⅰ	2	〃
「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」		経済学Ⅱ	2	〃
		○哲学基礎	2	哲学
		哲学Ⅰ	2	〃
		哲学Ⅱ	2	〃
		○倫理学基礎	2	倫理学
		倫理学Ⅱ	2	〃
	倫理学Ⅰ	2	〃	

## ■ 数学

免許法の科目	履修 確認	科目名	単位	備考
代数学		○代数学基礎	3	
		群論	2	
		環論	2	
		体論	2	
幾何学		○幾何学基礎	2	
		ユークリッド空間内の幾何学	2	
		曲面上の幾何学	2	
		微分幾何学	2	
解析学		○解析学基礎	3	
		複素解析学	2	
		微分方程式論	2	
		ヒルベルト空間論	2	
		解析数論	2	
「確率論, 統計学」		○数理統計学基礎	2	統計学
		確率論	2	確率論
コンピュータ		○コンピュータ基礎	2	

## ■理科

免許法の科目	履修確認	科目名	単位	備考
物理学		○物理学基礎	2	
		力学	2	
		電磁気学	2	
		※量子力学	2	力学を履修済みであることが望ましい
		※熱学・統計力学	2	力学を履修済みであることが望ましい
		※固体物理学	2	量子力学を履修済みであることが望ましい
		※物理学演習Ⅰ	1	力学を履修済みであることが望ましい
	※物理学演習Ⅱ	1	電磁気学を履修済みであることが望ましい	
化学		○化学基礎	2	
		無機化学	2	
		有機化学	2	
		物理化学	2	
		※有機反応論	2	有機化学を履修済みであることが望ましい
		※有機物理化学	2	有機化学と無機化学を履修済みであることが望ましい
		※化学演習Ⅰ	1	有機化学と無機化学を履修済みであることが望ましい
	※化学演習Ⅱ	1	化学演習Ⅰを履修済みであることが望ましい	
生物学		○生物学基礎	2	
		生化学	2	
		生態学	2	
		※遺伝学	2	生化学を履修済みであることが望ましい
		※生物学演習Ⅰ	1	生化学を履修済みであることが望ましい
	※生物学演習Ⅱ	1	生態学を履修済みであることが望ましい	
地学		○地学基礎	2	
		気象学概論	2	
		地質学概論	2	
		天文学概論	2	
		※層位学	2	地質学概論を履修済みであることが望ましい
		※地史学	2	地質学概論を履修済みであることが望ましい
		※地学演習Ⅰ	1	地質学概論を履修済みであることが望ましい
	※地学演習Ⅱ	1	地学演習Ⅰを履修済みであることが望ましい	
「物理学実験(コンピュータ活用を含む。), 化学実験(コンピュータ活用を含む。), 生物学実験(コンピュータ活用を含む。), 地学実験(コンピュータ活用を含む。)」		○物理学基礎実験	1	コンピュータ活用を含む。
		※物理学実験Ⅰ	1	物理学基礎実験を履修済みであることが望ましい
		※物理学実験Ⅱ	1	物理学基礎実験を履修済みであることが望ましい
		○化学基礎実験	1	コンピュータ活用を含む。
		※化学実験Ⅰ	1	化学基礎実験を履修済みであることが望ましい
		※化学実験Ⅱ	1	化学基礎実験を履修済みであることが望ましい
		○生物学基礎実験	1	コンピュータ活用を含む。
		※生物学実験Ⅰ	1	生物学基礎実験を履修済みであることが望ましい
		※生物学実験Ⅱ	1	生物学基礎実験を履修済みであることが望ましい
		○地学基礎実験	1	コンピュータ活用を含む。
		※地学臨地実習Ⅰ	1	地学基礎実験を履修済みであることが望ましい
	※地学臨地実習Ⅱ	1	地学基礎実験を履修済みであることが望ましい	
	※地学実験Ⅰ	1	地学基礎実験を履修済みであることが望ましい	
	※地学実験Ⅱ	1	地学基礎実験を履修済みであることが望ましい	

## ■音楽

免許法の科目	履修確認	科目名	単位	備考
ソルフェージュ		○ソルフェージュ基礎	2	
		ソルフェージュ演習	1	
声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）		○歌唱法基礎	2	合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。
		合唱法	2	
		伝統的歌唱法	2	
		歌唱法演習	1	
器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）		○器楽表現法基礎	2	合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。
		器楽表現法演習	1	
		ピアノ表現法	1	
		器楽アンサンブル基礎	1	
		ピアノ演奏法Ⅰ	1	
		管楽合奏	2	
		和楽器奏法	2	
指揮法		○指揮法基礎	2	
		指揮法演習	1	
		○音楽理論基礎	2	音楽理論以下全て含む。
音楽理論、作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）		作曲法	1	作曲法
		西洋音楽史	2	音楽史
		日本音楽史	2	音楽史
		音楽理論演習	1	音楽理論
		編曲法	1	編曲法

## ■美術

免許法の科目	履修確認	科目名	単位	備考
絵画（映像メディア表現を含む。）		○絵画基礎	1	映像メディア表現を含む。
		絵画実習	1	
		版画演習	2	
		※人物画演習	1	
		※抽象表現演習	1	映像メディア表現を含む。
		※裸婦絵画演習	1	
		※絵画形態論	2	
		※絵画色彩論	2	
		※絵画研究	1	
彫刻		○彫刻基礎	1	
		彫塑実習	1	
		木彫演習	2	
		※彫塑演習	2	
		※裸婦彫刻演習	2	
		※彫刻表現論	2	
		※彫刻技法論	2	
	※彫刻研究	2		
デザイン（映像メディア表現を含む。）		○デザイン基礎	1	映像メディア表現を含む。
		デザイン実習	1	
		視覚デザイン演習	2	
		※デザイン論	2	
	※デザイン研究	2		
美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）		○美術史・美術理論基礎	2	美術理論及び美術史以下全て含む。
		西洋美術史	2	美術史
		※美術史・美術理論演習	2	
		※西洋近代美術史	2	
		※美術史・美術理論研究	2	
	※日本美術史	2	美術史	

## ■保健体育

免許法の科目	履修 確認	科目名	単位	備考
体育実技		○中等体育実技基礎Ⅰ	1	
		○中等体育実技基礎Ⅱ	1	
		体づくり運動	1	
		器械運動	1	
		陸上競技	1	
		サッカー	1	
		バスケットボール	1	
		バレーボール	1	
		ソフトボール	1	
		剣道	1	
		柔道	1	
		ダンス	1	
		水泳	1	
「体育原理, 体育心理学, 体育経営管理学, 体育社会学, 体育史」及び運動学(運動方法学を含む。)		○体育学基礎	2	体育原理
		体育史	2	体育史
		体育心理学	2	
		体育社会学	2	
		○運動学基礎	2	運動学(運動方法学を含む。)
		運動学演習	2	運動学
生理学(運動生理学を含む。)		○生理学基礎	2	運動生理学を含む。
		○衛生学・公衆衛生学基礎	2	衛生学及び公衆衛生学
衛生学及び公衆衛生学		○学校保健基礎	2	小児・精神保健, 学校安全及び救急処置を含む。

## ■家庭

免許法の科目	履修 確認	科目名	単位	備考
家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)		○生活経営学基礎	2	家族関係学及び家庭経済学を含む。
		現代社会と家族	2	
		現代生活論	2	
		※消費者教育論	2	
		※高齢社会論	2	
被服学 (被服製作実習を含む。)		○被服学基礎	2	被服製作実習を含む。
		アパレル科学	2	
		被服整理学	2	
		被服製作実習	1	
		※アパレル実験	1	
食物学 (栄養学, 食品学及び調理実習を含む。)		○食物学基礎	2	栄養学, 食品学及び調理実習を含む。
		食品・栄養学	2	
		※食物学実験	1	
		※調理科学	2	
住居学(製図を含む。)		○住居学基礎	2	製図を含む。
		住居環境学	2	
		※住居学実験	1	
		※住環境変遷論	2	
保育学(実習及び家庭看護を含む。)		○保育学基礎	2	実習及び家庭看護を含む。
		児童家庭福祉論	2	
		※児童発達論	2	
家庭電気・機械及び情報処理		○生活工学基礎	2	家庭電気・機械
		○生活情報処理	2	情報処理

## ■ 英語

免許法の科目	履修 確認	科目名	単位	備考
英語学		○英語学基礎	2	
		英語学と教材研究Ⅰ	2	
		英語学と教材研究Ⅱ	2	
		第二言語習得論	2	
		英語学特殊演習Ⅰ	2	
		英語学特殊演習Ⅱ	2	
		英語学特殊演習Ⅲ	2	
英米文学		○英米文学基礎	2	
		英米文学と教材研究Ⅰ	2	
		英米文学と教材研究Ⅱ	2	
		英米文学特殊演習Ⅰ	2	
		英米文学特殊演習Ⅱ	2	
英語コミュニケーション		○伝達能力論基礎	2	
		英語コミュニケーション・リスニング <sup>※</sup>	2	
		英語コミュニケーション・リーディング <sup>※</sup> Ⅰ	2	
		英語コミュニケーション・リーディング <sup>※</sup> Ⅱ	1	
		英語コミュニケーション・リーディング <sup>※</sup> Ⅲ	1	
		英語コミュニケーション・ライティング <sup>※</sup> Ⅰ	2	
		英語コミュニケーション・ライティング <sup>※</sup> Ⅱ	1	
		英語コミュニケーション・ライティング <sup>※</sup> Ⅲ	1	
		教室英語コミュニケーションⅠ	1	
		教室英語コミュニケーションⅡ	1	
	教室英語コミュニケーションⅢ	1		
異文化理解		○異文化理解基礎	2	
		英語文化	1	
		異文化理解特殊演習Ⅰ	2	
		異文化理解特殊演習Ⅱ	2	

## 教職に関する科目（高等学校）

- 各欄ごとに示された単位数以上を、括弧で示された事項をすべて含むように授業科目を組み合わせ履修してください。

### ■第2欄 教職の意義等に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の3事項を全て含み 2単位
- 含まれる内容
  - (1) 教職の意義及び教員の役割
  - (2) 教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）
  - (3) 進路選択に資する各種の機会の提供等

履修確認	科目名	単位	含む事項
	教育臨床入門	2	(1) (2) (3)

### ■第3欄 教育の基礎理論に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の3事項を全て含み 6単位
- 含まれる内容
  - (1) 教育の理念並びに教育に関する歴史および思想
  - (2) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）
  - (3) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

履修確認	科目名	単位	含む事項
	人間の生成と社会	2	(1) (3)
	教育経営	2	(3)
	発達・教育心理学概論	2	(2)

- 以下の科目も免許取得に利用できますが、専門性の高い科目ですので、履修に当たっては担当教員と相談してください。

履修確認	科目名	単位	含む事項
	臨床教育学概論	2	(1)
	教育社会学概論	2	(3)
	教育心理学	2	(2) (3)
	認知心理学	2	(2) (3)

履修確認	科目名	単位	含む事項
	発達心理学	2	(1) (2)
	幼児心理学	2	(1) (2)
	生涯学習概論	4	(3)

■第4欄上 教育課程及び指導法に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の4事項を全て含み 6単位
- 含まれる内容
  - (1) 教育課程の意義及び編成の方法
  - (2) 各教科の指導法
  - (3) 特別活動の指導法
  - (4) 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）

※(2)各教科の指導法以外の修得方法

- 各教科の指導法の修得方法は別記。
- 各教科の指導法以外の科目の必要単位数は、各教科の指導法の必要単位数を除いた単位数を(1)、(3)及び(4)の事項を全て含み修得すること。

履修確認	科目名	単位	含む事項
	教育内容・方法論	2	(1)(4)
	特別活動の理論と方法	1	(3)

- 以下の科目も免許取得に利用できますが、専門性の高い科目ですので、履修に当たっては担当教員と相談してください。

履修確認	科目名	単位	含む事項
	マルチメディア教育論	2	(4)
	授業設計教材開発方法	2	(4)
	情報機器活用指導法	2	(4)
	総合的な学習の授業づくり	2	(1)(4)

## ※(2) 各教科の指導法の修得方法

- 必要単位数
  - 1種免許状：当該免許教科の指導法 2単位以上（4単位以上の修得が望ましい）
  - （当該免許教科の指導法の修得単位は、他教科に使用できない。）
- 履修に当たっては、○印の「基礎」の語のついた一般的包括的内容を含んだ科目を必ず修得すること。
- 授業科目の中で、※印の科目は、免許状取得に必要な科目として履修できますが、高度な内容が含まれるので、授業担当教員の許可を得て、履修してください。

教科	履修確認	科目名	単位
国語		○中等国語科指導法基礎	2
		作文指導論	2
		読解・読書指導論	2
		文法指導論	2
地歴		○地理歴史教育指導法	2
		中等社会科地理歴史教材研究	2
公民		○公民教育指導法	2
		中等社会科公民教材研究	2
数学		○中等数学科指導法基礎	2
		数学教育研究方法論	2
		数学教育カリキュラム論	2
		数学教育教材論	2
理科		○中等理科指導法基礎	2
		理科指導法研究	2
		理科授業研究基礎	2
		理科教育教材論	2
音楽		○中等音楽科指導法基礎	2
		中等音楽科指導法演習	2
		中等音楽科教材論	2
		歌唱指導法	2
		器楽指導法	2
		創作指導法	2

教科	履修確認	科目名	単位
美術		○美術科指導法基礎	2
		造形指導演習	2
		美術科指導法演習	2
		美術科教材論	2
		美術教育論	2
保健体育		○中等保健体育科指導法基礎	2
		中等保健体育科教材論	2
		中等体育科指導法演習	2
		中等保健科指導法演習	2
家庭		○中等家庭科指導法基礎	2
		家庭科教育特論	2
		家庭科教材論Ⅰ	2
		家庭科教材論Ⅱ	2
英語		○英語科指導法基礎	2
		英語科授業学	2
		英語科評価論	2
		英語科指導法演習Ⅰ	2
	英語科指導法演習Ⅱ	2	

#### ■第4欄下 生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の3事項を全て含み 4単位
- 含まれる内容
  - (1) 生徒指導の理論及び方法
  - (2) 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法
  - (3) 進路指導の理論及び方法

履修確認	科目名	単位	含む事項
	教育カウンセリング概論	2	(2)
	児童理解・生徒指導概論	2	(1)(3)

#### ■第5欄 教育実習

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：教育実習事前・事後指導1単位を含み 3単位
- 教育実習の履修については，別途指示にしたがってください。（p.159参照）

履修確認	科目名	単位
	教育実習事前・事後指導（中等）	1
	教育実習Ⅰ（中等）	4
	教育実習Ⅱ（中等）	2

#### ■第6欄 教職実践演習

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：2単位

履修確認	科目名	単位
	教職実践演習（幼・小・中・高）	2

## 教科または教職に関する科目（高等学校）

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：16単位
- 教科又は教職に関する科目は、1. 「教科に関する科目」、2. 「教職に関する科目」及び3. 「大学が加える教職に準ずる科目」（下記の表を参照）の3項目から選択して履修します。
  - 1. 「教科に関する科目」として修得し、余剰となった単位<sup>※注</sup>は教科又は教職に関する科目の単位とすることができます。
  - 2. 「教職に関する科目」については、各欄の含むことが必要な項目を全て含んだ上で余剰となった単位<sup>※注</sup>を教科又は教職に関する科目の単位とすることができます。
  - 3. 大学が加える教職に準ずる科目

履修 確認	科目名	単位
	地域教育演習Ⅰ	1
	地域教育演習Ⅱ	1
	教育臨床演習	2
	総合演習	2
	野外教育	1
	特別支援教育総論	2
	コミュニケーション論	2
	比較文化教育	2
	多文化教育方法論	2
	日本語教育学概論	2
	異文化間コミュニケーション教育	2
	情報機器活用論	2
	情報活用能力育成法	2
	キャリア教育特講	2
	授業開発論特講	2
	環境教育	2
	不登校・いじめ	2
	ものづくりの入門	2

※注 「余剰となった単位」とは、余剰となった科目の単位数です。  
 （1つの科目の単位数を分割してカウントすることはできません。）

## 幼稚園教諭免許状

### ■幼稚園教諭免許状取得に必要な単位数

科目区分	1種免許状	2種免許状
教科に関する科目	6単位	4単位
教職に関する科目	35単位	27単位
教科又は教職に関する科目（大学が加える教職に準ずる科目を含む。）	10単位	—

### 教科に関する科目（幼稚園）

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：1教科以上6単位
  - 2種免許状：1教科以上4単位
- いずれの教科の単位を修得する場合も、次の○印の「基礎」の語のついた一般的包括的内容を含んだ科目を修得する必要があります。

履修確認	教科	科目名	単位
	国語	○国語基礎	2
	算数	○算数基礎	2
	生活	○生活基礎	2

履修確認	教科	科目名	単位
	音楽	○音楽基礎	2
	図画工作	○図画工作基礎	2
	体育	○体育基礎	2

## 教職に関する科目（幼稚園）

- 各欄ごとに示された単位数以上を，括弧で示された事項をすべて含むように授業科目を組み合わせ履修してください。

### ■第2欄 教職の意義等に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の3事項を全て含み 2単位
  - 2種免許状：以下の3事項を全て含み 2単位
- 含まれる内容
  - (1) 教職の意義及び教員の役割
  - (2) 教員の職務内容（研修，服務及び身分保障等を含む。）
  - (3) 進路選択に資する各種の機会の提供等

履修確認	科目名	単位	含む事項
	教育臨床入門	2	(1) (2) (3)

### ■第3欄 教育の基礎理論に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の3事項を全て含み 6単位
  - 2種免許状：以下の3事項を全て含み 4単位
- 含まれる内容
  - (1) 教育の理念並びに教育に関する歴史および思想
  - (2) 幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）
  - (3) 教育に関する社会的，制度的又は経営的事項

履修確認	科目名	単位	含む事項
	人間の生成と社会	2	(1) (3)
	教育経営	2	(3)
	発達・教育心理学概論	2	(2)

- 以下の科目も免許取得に利用できますが，専門性の高い科目ですので，履修に当たっては担当教員と相談してください。

履修確認	科目名	単位	含む事項
	臨床教育学概論	2	(1)
	教育社会学概論	2	(3)
	教育心理学	2	(2) (3)
	認知心理学	2	(2) (3)

履修確認	科目名	単位	含む事項
	発達心理学	2	(1) (2)
	幼児心理学	2	(1) (2)
	生涯学習概論	4	(3)

#### ■第4欄上 教育課程及び指導法に関する科目

- 以下の単位を修得すること
    - 1種免許状：以下の3事項を全て含み 18単位
    - 2種免許状：以下の3事項を全て含み 12単位
  - 含まれる内容
    - (1) 教育課程の意義及び編成の方法
    - (2) 保育内容の指導法
    - (3) 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）
  - 【注】「(2)保育内容の指導法」の単位のうち、半数までは小学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合の各教科の指導法（社会，理科及び家庭を除く。）又は特別活動の指導法の単位をもってあてることができる。
    - (2)の必要単位数は，以下の式で計算する。
- （【第4欄上必要単位数】－【(1)及び(3)の修得単位数】）÷2＝【(2)の必要単位数（奇数は偶数に切り上げ）】

履修確認	科目名	単位	含む事項
	幼児教育学概論	2	(1)
	幼児教育学特講	2	(1)
	教育内容・方法論	2	(1)(3)
	総合的な学習の授業づくり	2	(1)(3)
	健康教育概論	2	(2) 注
	人間関係概論	2	(2) 注

履修確認	科目名	単位	含む事項
	自然教育論	2	(2) 注
	言語教育論	2	(2) 注
	表現教育演習	2	(2) 注
	保育指導法概論	2	(3)
	保育指導法特講	2	(3)

#### ■第4欄下 生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の3事項を全て含み 2単位
  - 2種免許状：以下の3事項を全て含み 2単位
- 含まれる内容
  - (1) 幼児理解の理論及び方法
  - (2) 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

履修確認	科目名	単位	含む事項
	幼児理解・教育相談	2	(1)(2)

### ■第5欄 教育実習

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：教育実習事前・事後指導1単位を含み 5単位
  - 2種免許状：教育実習事前・事後指導1単位を含み 5単位
- 教育実習の履修については、別途指示にしたがってください。(p.159参照)

履修 確認	科目名	単位
	教育実習事前・事後指導(初等)	1
	教育実習Ⅰ(初等)	4
	教育実習Ⅱ(初等)	2

### ■第6欄 教職実践演習

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：2単位
  - 2種免許状：2単位

履修 確認	科目名	単位
	教職実践演習(幼・小・中・高)	2

## 教科または教職に関する科目（幼稚園）

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：10単位
  - 2種免許状：－
- 教科又は教職に関する科目は、1. 「教科に関する科目」、2. 「教職に関する科目」及び3. 「大学が加える教職に準ずる科目」（下記の表を参照）の3項目から選択して履修します。
  - 1. 「教科に関する科目」として修得し、余剰となった単位<sup>※注</sup>は教科又は教職に関する科目の単位とすることができます。
  - 2. 「教職に関する科目」については、各欄の含むことが必要な項目を全て含んだ上で余剰となった単位<sup>※注</sup>を教科又は教職に関する科目の単位とすることができます。
  - 3. 大学が加える教職に準ずる科目

履修 確認	科目名	単位
	地域教育演習Ⅰ	1
	地域教育演習Ⅱ	1
	教育臨床演習	2
	総合演習	2
	野外教育	1
	特別支援教育総論	2
	コミュニケーション論	2
	比較文化教育	2
	多文化教育方法論	2
	日本語教育学概論	2
	異文化間コミュニケーション教育	2
	情報機器活用論	2
	情報活用能力育成法	2
	キャリア教育特講	2
	授業開発論特講	2
	環境教育	2
	不登校・いじめ	2
	ものづくりの入門	2

※注 「余剰となった単位」とは、余剰となった科目の単位数です。  
（1つの科目の単位数を分割してカウントすることはできません。）

## 特別支援学校教諭免許状

(知的障害者に関する教育領域, 肢体不自由者に関する教育領域, 病弱者に関する教育領域)

■基礎資格：小学校, 中学校, 高等学校又は幼稚園教諭の普通免許状を有すること。

### ■特別支援学校教諭免許状取得に必要な単位数

科目区分	1種免許状	2種免許状
特別支援教育に関する科目 (右欄に示す最低修得単数を満たすこと)	26単位	16単位
第1欄 特別支援教育の基礎理論に関する科目	(2単位)	(2単位)
第2欄 特別支援教育領域に関する科目	(16単位)	(8単位)
第3欄 免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	(5単位)	(3単位)
第4欄 心身に障害のある幼児, 児童又は生徒についての教育実習	(3単位)	(3単位)

## 特別支援教育に関する科目

- 各欄の最低修得単位数を満たし, 合計で特別支援教育に関する科目の単位数を満たしてください。
- 「特別支援教育実習 (事前・事後指導を含む)」を履修するには, 原則として, 事前に特別支援教育コースの学生は「障害児療育指導法実習」を, 特別支援教育コース以外の学生は「障害児療育指導法実習」と「障害児指導法実習Ⅱ」の2科目を事前に履修しておく必要があります。
- 特別支援教育コース以外の学生が特別支援学校教諭免許状を取得する場合の「副免資格試験」は, 原則として3年次前期終了後に行います。この試験を受けようとする者は, 事前 (3年次前期を含む) に, 特別支援教育に関する科目のうち☆印の付いた科目を6単位以上履修しておいてください。

### ■第1欄 特別支援教育の基礎理論に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：2単位以上
  - 2種免許状：2単位

履修確認	科目名	単位	含む事項
	☆特別支援教育概説	2	

## ■第2欄 特別支援教育領域に関する科目

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：以下の2事項を含み 16単位以上
  - 2種免許状：以下の2事項を含み 8単位
- 含まれる内容
  - (1) 心身に障害のある幼児，児童又は生徒の心理，生理及び病理に関する科目
  - (2) 心身に障害のある幼児，児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目

履修確認	科目名	単位	含む事項	中心となる領域	備考（最低修得単位数）
	☆コミュニケーション障害の心理学	2	(1)	知的障害者	各中心となる領域について 1種：(1)，(2)の事項を含めて4～8単位以上
	☆知的障害児の心理・生理・病理	2	(1)	知的障害者	
	☆肢体不自由児の心理・生理・病理	2	(1)	肢体不自由者	
	☆病弱児の心理・生理・病理	2	(1)	病弱者	
	☆障害児自立活動演習Ⅰ	2	(2)	肢体不自由者	2種：(1)，(2)の事項を含めて4単位以上
	☆障害児自立活動演習Ⅱ	2	(2)	病弱者	
	☆障害児教育課程概説	2	(2)	知的障害者	
	☆肢体不自由児の言語指導	2	(2)	肢体不自由者	
	☆障害児指導法実習Ⅱ	2	(2)	知的障害者	1種：4単位以上が望ましい。 2種：2単位
	障害児療育指導法実習	2	(1)(2)	知的障害者	
	障害児指導法実習Ⅰ	2	(1)(2)	知的障害者	

## ■第3欄 免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目

- 各中心となる領域を全て含み，以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：5単位以上
  - 2種免許状：3単位

履修確認	科目名	単位	中心となる領域
	発達障害・重複障害概論	2	重複・LD等領域
	視覚障害教育総論	2	視覚障害者
	聴覚障害教育総論	2	聴覚障害者
	障害児臨床学実習	4	

## ■第4欄 心身に障害のある幼児，児童又は生徒についての教育実習

- 以下の単位を修得すること
  - 1種免許状：3単位以上
  - 2種免許状：3単位

履修確認	科目名	単位
	特別支援教育実習（事前・事後指導を含む）	3